

わが家の約束を続けて安心してネットを活用できる子に

多くの家庭が、**前向き**に取り組んでくださいました。
カードのふりかえり欄から、「わが子を、ゲーム依存にしない。」
「困っている状況を改善したい。」という願いが伝わってきました。

多くの家庭において**効果ある取組**になったと実感しました。

しかし、現実には、この期間が終わってからも、続けて約束を守れているお子さんばかりではないでしょう。

今後も、**継続**して取り組んでいき、生活を豊かにするネットを安全に利用できる子に育てていきたいものです。



その約束いいね

各家庭で決めた約束をピックアップして集計しました。

- 1位 **親に許可を得てから使おう。困ったら、親に相談しよう。**
- 2位 **宿題や手伝いなどを終わったら使おう。**
- 3位 **家族と話す日をつくろう。**
- 4位 **30分見たら、目を休めよう。**
- 5位 **兄弟で仲良く利用しよう。(けんかしたらやめる。)**
- 6位 **知らない人とはフレンドにならない。**

「松枝小のゲームやネットの約束」を提案して、今回の取組を開始しました。実際に親子で話し合って決めた約束を手分けして、提案以外の約束を探しました。「いいね」と感じた約束を集計した結果が、上の表です。「松枝小の約束」に**取り入れることにします。**

1位は、親子の信頼関係を大切にしたい約束ですね。2位は、やるべきことを終わらせてからご褒美として楽しむ約束です。3位は、ノーメディアデイの一環として、じっくり家族とのコミュニケーションを大切にしたい約束です。4位は、目を大切にするという理由が明確にした約束です。5位は、家族のトラブルの元にならないようにする約束ですね。6位は、ネット上のなりすまし被害から子供を守る約束です。



約束として多かったのは、「1日〇時間まで」と「夜〇時まで」でした。そこで、時間と時刻を集計してみたところ、制限時間として多かったのは、**1位:1日1時間まで 2位:1日2時間まで** でした。
最終時刻については、**1位:夜9時まで 2位:夜8時まで** でした。詳しくは、裏面のグラフを参照してください。

松枝小のゲームやネットの約束

ネットにつながる機器を
与えている家庭

ゲーム機を与えているが、
ネットをつないでいない家庭

ゲーム機もネット機器
も与えていない家庭

- オンラインは、夜〇時までにしよう。
- ネットは、家族のいる部屋でしよう。
- 相手の気持ちを考えて送信しよう。
- 親に許可を得てから使い、困ったら親に相談しよう。
- 知らない人とフレンドにならない。
- ゲームは、1日〇時間までにしよう。
- やるべきことをやってから遊ぼう。
- 〇分間見たら、目を休めよう。
- 兄弟で仲良く利用しよう。
- ノーメディアデイ、家族で楽しく過ごそう。
- 家族と話す日をつくろう。

この「松枝小のゲームやネットの約束」をもとに、ご家庭での約束を見直して、実践につなげていきましょう。

保護者の声

カードを効果的に活用してくださった例を紹介します。

保護者から子へ

いつもルールを決めて
 いましたが、改めて話し
 合って、おせルールを決めるの
話せてよかったです。

保護者から子へ

夏休み以前は、何回注意しても
 ゲームやネットをやっぱかりでしたが、
 この取り組みを機に、きちんと約束を
守り、家族の時間もとれるようになった

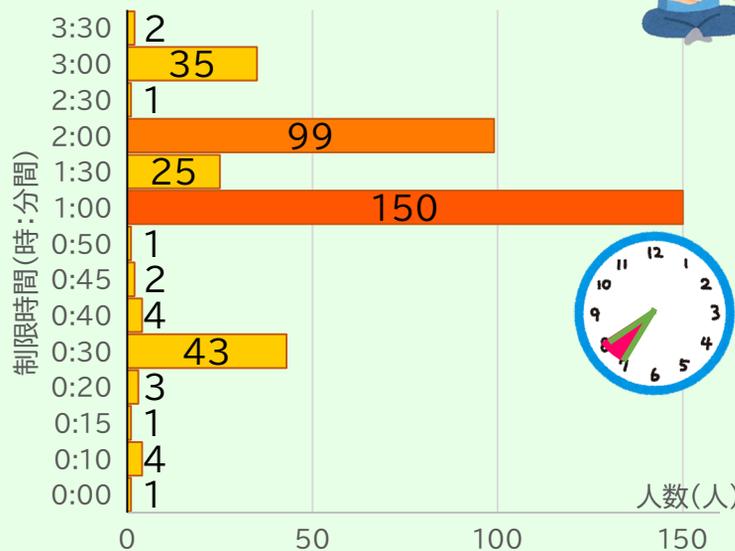
保護者から子へ

家族で話し合っりきつり日に
 慣れて良かった。この事で意識
してくれてありがとうの努力
がみられてgoodです。

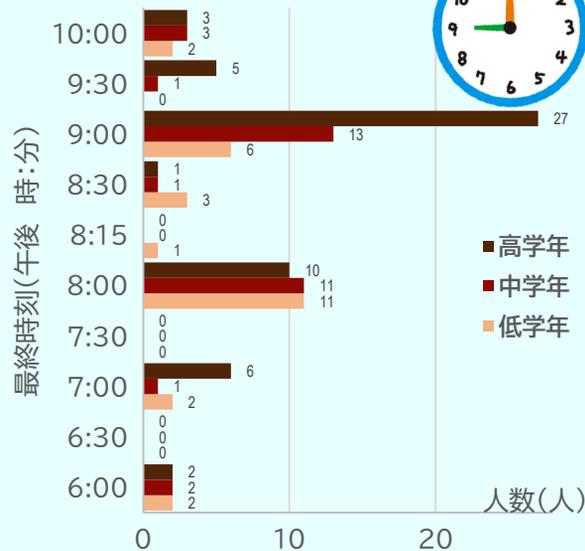
約束時間と時刻の集計結果

カードをチェックして集計しました。

1日の制限時間



1日の最終時刻



本当にあったこわい話



県内の小学生が、オンラインゲームにおいて、高額なアイテムのやりとりをしていてトラブルになる事案が発生しています。15歳以上対象のゲームですが、本校もそのゲームを話題にする児童がいます。お子さんが、**どんなゲームをしているかご存知ですか？**

子どもでもコンビニでポイントカードを購入して、アイテムをゲーム機で手に入れることができます。また、そのアイテムを仲間にギフトとして渡すことが可能です。ゲーム内の数百～数千円のアイテムをやり取りすることが平気になり、金銭感覚がマヒしてしまうことが危惧されます。**未然に防ぐために、約束づくりと見届けが必要**です。

保護者の皆様、この取組にご理解とご協力ありがとうございました。

取組を続けたいという声をいただきましたので、松枝小ウェブサイト「わが家の約束実践カード」を置きました。ダウンロードしてお使いください。

←QRコードから開くこともできます。

今後も、安全にネットやゲームと付き合うことができる子どもに育つよう共に考え、実践していきましょう。よろしくお祈いします。

